

## 材料工学委員会バイオマテリアル分科会（第25期・第4回）

### 議事要旨

1. 日時 令和4年1月26日(水)17:00-19:00
2. 場所 Zoom Web 開催
3. 出席者（敬称略）石原一彦、秋吉一成、宇尾基弘、大矢根綾子、春日敏宏、片岡一則、菊池明彦、岸田晶夫、高原 淳、中野貴由、埜 隆夫、丸山 厚、三浦佳子、山岡哲二  
欠席者（敬称略）田畑泰彦

出席委員 13名 欠席委員 1名

#### 4. 議事

(1) 前回議事要旨確認（資料1-1、資料1-2）

議事要旨・備忘録の確認を行った。

(2) 分科会構成委員について（資料2）

新構成員として九州大学三浦佳子教授が紹介された。

(3) 科学的助言機能の見直しについて（資料3）

埜委員長よりこれまでの提言やマスタープラン等の変更について説明された。マスタープランは今期では策定せず、新たな取組（学術研究振興分科会への提案）を行う（令和4年度夏を目途にスタート）。

(4) 会員選考方法の見直しについて（資料4）

埜委員長より資料を用いて見直しの内容について説明があった。

(5) 生体医工学分科会と共同での主催シンポジウム開催について（資料5）

埜委員長より「医工学シンポジウム2022（仮題）（我が国の医工学—現在と未来—）」を生体医工学分科会とバイオマテリアル分科会の共同主催で令和4年7月に実施する予定であることが説明された。

下記の点に留意して、共同主催とすることが了承された。

- ・バイオマテリアルの主体性を明確にして生体医工学分科会とイーブンな立場で開催することが重要。

(6) マスタープランに代わる新たな取組について（資料6）

資料6について、資料作成した、埜委員長、岸田委員、石原委員、中野委員から説明された。資料の内容ならびに拠点のあり方についての議論がなされた。拠点をどうするのかということも継続審議で進める。

(7) 今後の作業について

共同主催シンポジウムの開催準備を進める。

- ・マスタープラン代替プロジェクトに対する新提案については、今回提示の5枚の図面を基に改良案、新規案等を図面として作成し、各委員（必須ではない）が次回の分科会前（3月5

日まで) に考え方をまとめて埴委員長にあらかじめ提出いただく。

- ・次年度に上記代替プロジェクトの内容を「報告」とする。

(9) その他

- ・第5回バイオマテリアル分科会は、令和4年3月9日(水)10時~12時にWEB開催。
- ・第4回(今回)の議事要旨確認については、埴委員長一任とすることが了承された。

文責 岸田晶夫・中野貴由